

二二二三番

天あめの海うみに 月つきの舟ふね浮うけ 桂かつら梶かぢ かけこて漕こぐ見みゆ  
月つき人ひとをとこ

二二二四番

この夜よらは さ夜よふけぬらし 雁かりが音ねの 聞きこゆ  
る空そらゆ 月つき立たち渡わたる

二二二五番

我わが背せ子こが かざしの萩はぎに 置おく露つゆを さやかに  
見みよと 月つきは照てるらし

二二二六番

心こころなき 秋あきの月つき夜よの 物もの思おもふと 眠いの寝ねらえぬに  
照てりつつもとな